

研究タイトル: 上皮-間葉転換による癌細胞転移の機序解明



氏名:	小林和香子 / KOBAYASHI Wakako	E-mail:	wkoba@ube-k.ac.jp
職名:	助教	学位:	博士(医学)
所属学会・協会:	日本生化学会、日本細胞生物学会		
キーワード:	上皮-間葉転換、EMT、細胞接着、糖鎖、Wnt シグナル伝達経路		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子ノックアウト ・シグナル伝達 		

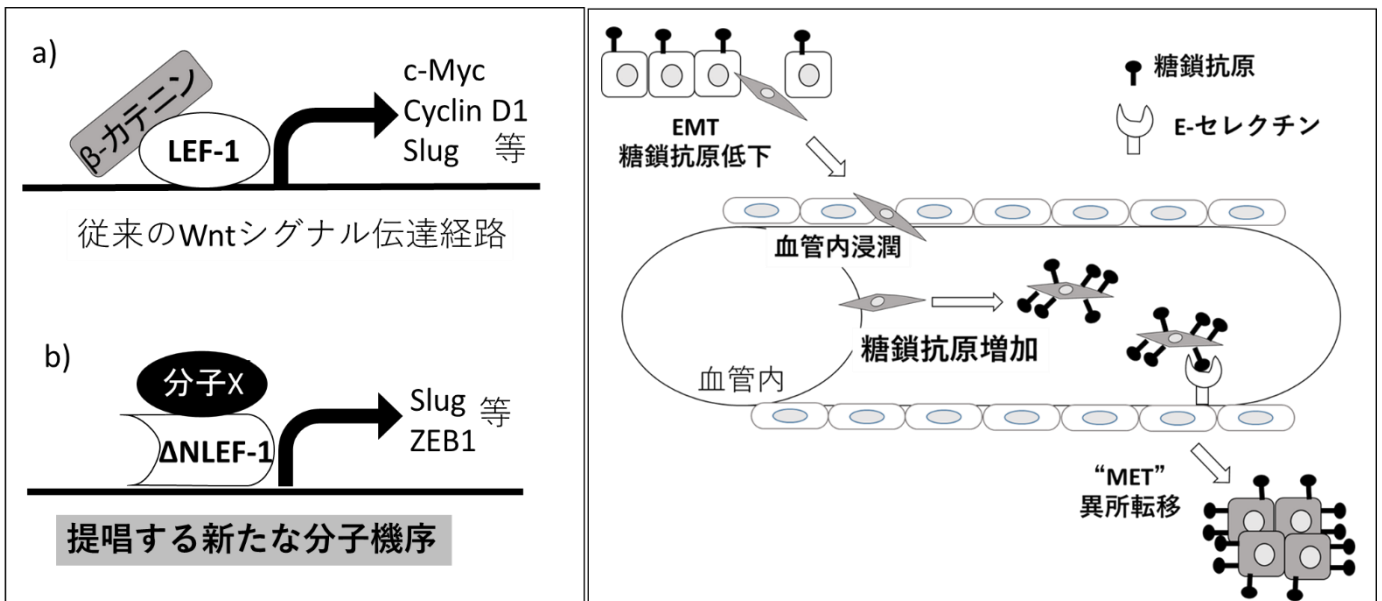
研究内容: 上皮-間葉転換による癌細胞転移の機序解明

厚生労働省が発表している日本の3大死因のトップが悪性新生物(癌)です。癌は転移を抑えることができれば、死亡率が下がるといわれています。では、癌の転移はどのようなメカニズムで起こっているのでしょうか。私は培養細胞を用いて、癌細胞転移の初期段階で重要な上皮-間葉転換(EMT)という現象に着目して研究を行っています。

EMT を引き起こすと報告されている転写因子(LEF-1, Snail)を培養細胞に強制発現させ、

- ① 新たなシグナル伝達経路の存在を提唱(従来の LEF-1/β-カテニンではなく、新たな LEF-1 結合因子の探索)
- ② ある特定の糖鎖発現と EMT の関係性(EMT が起こる際糖鎖発現が低下するが、血行性転移により異所転移した際の糖鎖発現の増加のメカニズム解析)

この2つのテーマで現在研究を進めています。



① 新たなシグナル伝達経路の存在

② 糖鎖発現とEMTの関係性

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	